

「Pemetrexed 投与時の非ステロイド性抗炎症剤併用の実態調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年7月1日から2016年6月30日の間に名古屋大学医学部附属病院でペメトレキセドを初回投与された方

2. 研究目的・方法

名古屋大学医学部附属病院においては 1 ヶ月にあたり約70名の方が抗がん剤であるペメトレキセド (Pemetrexed) を投与されています。ペメトレキセドは、一般的によく使われるタイプの痛み止めである非ステロイド性抗炎症剤との併用で副作用がでやすくなる可能性が指摘されています。

そこで、非ステロイド性抗炎症剤とペメトレキセドの併用が副作用のでやすさに関係するかどうか、カルテ上のデータを利用して検討することがこの研究の目的です。

2015年7月1日から2016年6月30日の間に名古屋大学医学部附属病院でペメトレキセドを初回投与された患者さんのカルテ情報を使用します。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、非ステロイド性抗炎症剤の併用がペメトレキセドによる副作用のでやすさに関係するかどうか、検討させていただきます。

本研究は、平成 29 年 3 月 9 日から開始され、平成 30 年 6 月 20 日に終了する予定としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齢、性別、体重、血液検査の結果、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

データ利用拒否の要望に応えられるよう、対応表を作成して連結可能にしたうえで、匿名化してデータを解析します。対応表と解析資料等を含むデータは別々のパスワードロック付きのコンピューター内で厳重に保管され、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。

5. 研究組織

トヨタ記念病院	薬剤師	久田達也(研究統括責任者)
名古屋掖済会病院	薬剤師	中村敏史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さん
の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連
絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できな
いことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 川原田祐貴

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-5211

FAX 052-744-2685

研究責任者:

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 山田清文